EV充電器 公道設置　全国初 横浜・青葉区　市とイーモビリティパワー　実証実験を開始

Dfile　2021.6（上）神奈川21.6.9

横浜市などは21年6月8日に、電気自動車（EV）とプラグインハイブリット自動車（PHV）向けの急速充電器1基を横浜市青葉区しらとり台の県道140号に設置する実証実験を始めた。EV用充電器を公道上に設置するのは全国初で、今後、中心市街地への設置を進めるにあたって、今回の実験結果を役立てようとしている。今回設置した急速充電器は、東京電力、中部電力、自動車各社などが共同出資して設置され、24時間有料で、一回当たり約30分で利用できる。

【東京都の取り組み】

ゼロエミッションビークル（ZEV）の普及拡大に向けて、充電設備導入促進事業を開始（2020年07月03日）

東京都は、CO2を排出しない環境先進都市「ゼロエミッション東京」の実現に向け、2030年までに都内の乗用車の新車販売台数におけるゼロエミッションビークル（ZEV：電動自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車）の割合を5割まで高める目標を掲げている。そして、商業施設・宿泊施設等及び集合住宅、事務所・工場等へ、電気自動車等に用いる充電設備を購入・設置するための補助（令和2年度分）の申請受付を開始した。

充電設備導入における事業期間を令和4年度（2022年度）まで2年間延長する。また、公共用充電については、事業者や区市町村が商業施設・宿泊施設等に設備を設置する場合、設備購入費に加え、新たに設置工事費を補助対象とする。さらに、急速充電器については設置から3年間の維持管理費の補助等を実施する。

<https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2020/07/03/02.html>